

第3回六郷小学校区地元代表者協議会 会議録

1 日 時 令和5年6月13日（火）18時30分～19時20分

2 場 所 六郷コミュニティセンター ホール

3 出席者 (1) 委員 10名

(2) 事務局 教育指導部長 山口 玲子
教育総務課長 石黒 龍実
学校教育課長 植木 修
学校教育課 適正規模・適正配置推進主幹 森谷 純
学校教育課 適正規模・適正配置推進室長 柴倉 和典
学校教育課 主事 渡邊 亮
学校教育課 学校教育専門員 岩倉 由美

4 内 容

(1) 開会

(2) あいさつ (会長)

(3) 協議

①会議録の承認について

②アンケートの実施報告について

③統合のあり方に関する意見について

④意見書の取りまとめについて

(4) 次回会議の開催について

(5) 閉会

(3) 協議について

(会 長) 初めに「会議録の承認について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 以上の説明について、修正箇所等はいかがか。

(委 員) 2ページ目ですが一番下です。「第1回の地元代表者協議会の後で、PTAの定例会」となっておりますが、PTAではなくて、「民生委員・児童委員の定例会」ということで修正をお願いいたします。

(会 長) 2ページの下のところを、PTAではなくて、民生委員・児童委員と訂正をお願いしたいと思います。他に、皆さんの方からございませんか。なければ、会議録を承認して良いかをお諮りしたいと思います。承認なされる方は挙手にてお願いしたいと思います。

はい。それでは会議録は承認といたします。

(会 長) 次に、「アンケートの実施報告について」説明をお願いします。

《 PTA会長から説明 》

(会 長) 今、PTA会長の方から説明いただきましたけれども、皆さんの方からご質問

等ございましたらお願いしたいと思います。

なければ、次の「統合のあり方に関する意見について」ということで進んでもよろしいでしょうか。それでは事務局から説明をお願いいたします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 事務局の方から、第1回と第2回で出された意見等を全部まとめて報告いただきましたけれども、それも含め、皆さんの方からご意見ございましたら、よろしくお願いしたいと思います。

(委 員) 小学校のPTAのアンケートでもありましたけれども、学校の名前っていうのは、どのようになるのかなっていうところなんです。他の保護者の方や地区の方々と話をしまして、北とか何かそういう抽象的なものじゃなくて、地域柄が出せればなって、そっちの方の名前がいいなっていうこともあったりとか、その辺のことを気にされている方がいらっしゃいました。あと昨日ちょうど北ブロックのPTA会長さんと打ち合わせする機会がありまして、各学校やはり自分たちでやってきたことを続けていきたいなという会長さんもいたり、PTA会長をやっている方々なので取組に前向きな方のご意見だったと思いますけれども、そういう話も昨日してきたところです。PTA会長同士ではそんな話もしている、直接できている機会もあるので、いろいろ話をしていきたいなと思っています。

(事務局) 校名につきましては、とても大きなテーマになります。一応、中学校につきましては、公募をさせていただくという予定で準備をしております。中学校の統合は令和8年度に2つの学校が開校しますので、それに向けて進めていきますが、統合小学校の場合は、令和9年度の開校予定ですので、1年ほど後になりますが、今の考えとしましては公募をさせていただきたいと考えております。その際、学校名とあわせて、どういう趣旨でその名前を考えたのかということをお募集の際に出していただき、精査して最終的な校名を決めていくというプロセスになると思います。現時点では、公募を行って校名を決めていくということで考えているところです。

(会 長) その他にありますか。

(委 員) 私からはアンケートにもありましたが体操着のことです。今の二年生が統合小学校に入ることになるかと思いますが、その体操着っていうのは、どの時点で購入時期が切り替わるとか、そのあたりの考え方をお聞きしたい。また、今年度に統合した三沢西部小や三沢東部小はどういった取扱になっているのか、参考に教えていただければと思います。

(会 長) 事務局、お願いします。

(事務局) 現時点で考えているのは、まず開校の時点での新しい体操着、統合小学校としての体操着を、新たに準備するという事は考えております。具体的にどういふふうなものになるかについては、これから検討していきます。購入していただく

タイミングについては、入学のときに購入いただいた体操着については、成長に伴っていずれかの学年の時に買い替えの時期がやってくるというふうに考えております。想定としては四年生ぐらいの時点で買い替えの時期ということで今現在は見込んでおります。お子さんが四年生になるあたりに、体操着が決まっていて、買い替えの時期に合わせてご購入いただければなというふうに考えております。これから新しい体操着、あるいは新しい学校で新たに用意していただくものがあれば、統合準備委員会等が立ち上がっていく中で、並行して検討させていただくというふうな予定でおります。この度の三沢東部小と三沢西部小が西部小と統合する時には、そのタイミングで一年生から六年生までの皆さんには、一斉に西部小の体操着に切り替えていただいて、西部小での新学期を迎えたという形になります。その方法とは違って、統合小学校については、開校に向けて買い替えの時期にご購入いただけるように準備していければと考えているところです。

(委員) 令和7年度ぐらいから、購入が可能になるってというようなイメージですか。やはり統合した時に体操着がバラバラだと、何となく落ち着かないというか、親としても周りと同じものを着せたいということがあると思います。その子が着られなくても、その兄弟であったり、周りの人がリユース活動などでも、着られるかなというふうに思いますので、その辺早めに切り換えていただければなというふうに思います。あともう1点が、地域との連携という部分で、例えばその運動会っていうものがあつた場合に、学校関係者だけではなくて、やっぱりそれは地区の方であつたり、あとスポーツ協会の方達で、運動会を一緒にしましょうねっていうふうになった場合は、そういうふうな会議をもたなければならないと思いますが、それに関して教育委員会としては、一切関与しないで、それはあくまでも地域の方でやってくださいねという形になりますか。ちょっと答えづらい質問かもしれませんがよろしく願いいたします。

(事務局) 地区の行事について、今まで小学校と地区の方々と連携して一体となって、様々な行事に取り組んでいただいていたというふうに思います。そういった行事について、統合に伴い、どのように新しい統合小学校と地区と関わりのある行事をつくれるかというところは、統合準備委員会でのテーマに取り上げさせていただく予定です。三沢東部小や三沢西部小の時にも検討をされました。ただ、地区ごとに色々なお考えがあつて、例えば、新年度は、学校の運動会はするけれども地区の運動会は、それぞれの地区で考えるとといった形で今年度はスタートしています。地区でどういう形でできるかといったところは、統合準備委員会の場を活用していただいて話し合いなどしていただければと思います。地区の方々のご事情もあると思いますので、必ず行事を作ってくださいといったことではないと思いますので、そこは自由にご協議いただければというふうに思います。

(会長) その他、皆さんの方から何かございましたらお願いしたいと思います。

それでは、私からですけど、先ほど令和7年度あたりからと体操着の話がありましたけれども、そうなりとその時点までには、小学校の名前とか校章とかそれも決まってくるっていう解釈でよろしいですか。

(事務局) 校名を決定するタイミングにつきましては、中学校が令和8年度の開校ですが、今年度中には校名を決定する予定です。同じように考えますと、統合小学校についても、来年度には校名の方は決定させていただければなというふうには考えています。学校が多く開校するものですから、校名をいつの時点で決めるのが適切かどうか、なかなか難しいところもありますが、できるだけ早い時期に、そして校名から校章づくり、その校章を体操着にプリントするなんてことも出てきますので、そういったところも念頭に置きながら、できれば早めに決めさせていただければなと考えています。

(委員) 冬季間なんかはスクールバスの準備っていうふうな話になっているわけですが、スクールバスとなってくると、中街道はいいけども、桐原とか長橋とかあの細いところに入ってくると、バスでは大きくて、交互通行ができなかったり、一方通行で待たなければいけない状況が冬季間起きてくるわけです。すると例えばスクールバスではなくて、乗り合いタクシーのジャンボタクシー、そういうふうな格好にする方法もあるかと思うし、前回2回目の説明会の時に、田沢と三沢が今年度統合したので、今年の冬の状況を見て判断させていただきという意見があったと思います。要は私が思うのは、タクシーの運転手さんだって数が限られているし、今タクシーの運転手さんのなり手もないっていう状況ですし、スクールバスのジャンボタクシーを運転してくれないかと頼んで、引き受けてくれる人がどれぐらいいるのか、その子どもの安全安心を考えて、大人の人を乗せるのはわかるけど、子どもを乗せるのはしたくないな、こういうふうな声が出てきたり、あとは働き方改革によって、時間帯がずれるっていうことは、例えばドライバーが10人でいいものが、働き方改革のために15人確保しないと学校の運転手が確保できない、こういう状況が必ず出てくると思う。そのことを今から検討して考えていかないと、この人材不足の中で、とんでもない冬になるのではないかなと思っています。それじゃあ歩けとか、急に変更なったりすることではうまくないと思います。タクシーの運転手さんもそうですし、学校の先生方もそうだと思いますし、先生方のなり手がいないと。退職していく先生方はしょうがないけども、やっぱりなり手がいないとか、そういう状況がこの社会、世の中にそういう現象が起きているわけです。働き方改革で、私代休です休みですとか、それに対応できるだけの人材を確保できるのかっていうそういうふうなことを、米沢市として全部を考えなきゃいけない。その時に一般の運転手さんがどのぐらいいるのか、二種免許を持っている人がどれぐらいいるのか、その辺のことも全部把握しておかないと、その場になって来年からお願いします、いや2人はいるけど5人

なんかいませんよ、なんて言われてしまうのは大変だと思うので、その辺のことを、今から検討していただきたいなっていうふうな、参考意見として聞いてください。

(会 長) 事務局、お願いします。

(事務局) 以前にお話をさせていただいたかもしれませんが、五中の地元代表者協議会の意見書の取りまとめの際にも、同じようなご意見を会長さんからいただいています。ドライバー不足を含めたバスやタクシー業界を取り巻く環境が厳しくなっているというお話を聞いております。全国的にも統合する場合に共通の課題になっています。人材がないということで、それを前倒しして確保できるかっていうと、これもまた難しいという話が現実としてあります。ただ、そうは言っていられないので、常日頃から、例えばタクシー事業者の方々との意見交換や情報交換をさせていただいております。どういう状況にあるか、例えば今お願いするとすれば、どのぐらいの輸送が可能かっていうところも把握に努めています。

また、スクールバスとしては、実際にはマイクロバスの方が多いと思いますが、そういったものをどのように、どういった事業者の方が運行できるかといったところも情報収集をさせていただいております。今後、何年度にどのぐらいのスクールバスが必要になるか、どのぐらいの人数をバス輸送する必要があるのかについても、毎年、状況は変化しますけれども、できるだけ不足ないように確保ができるように準備していきたいと考えております。また、先ほど、細い道などの場合の車両の形態についてお話がありました。子どもたちがどこに住んでいるのかによっては、例えば、マイクロバスだけで回ってしまうと、一周するのにかなりの時間がかかってしまい、結果として、かなり早い時間に最初のお子さんがバスに乗ることにもなってしまう可能性が出てきます。できるだけ、一定程度の時間内で学校まで行けるといように、学区を一括りではなくて、方面別の路線に分けて運行するといったことも考えていきたいと思います。また当然、道が狭いところとか、お子さんの数があまりいない区域については、その人数に合わせて、マイクロバスではなくてジャンボタクシー車両を使ったスクールバスの運行ということも念頭に置きながら進めていきたいというふうに考えています。

(会 長) 子どもたちの安全な通学のためによろしくお願いしたいと思います。その他、皆さんの方からございませんか。

(委 員) 先ほどのタクシーの件は、行くときの話ですよね。元々行くときは同じ登校時間に行きますけど、帰りは低学年と高学年でバラバラになると思います。その場合、何便も走らせてもらえるのでしょうか。それと、事前の交流事業というのがありますけど、それって何年か前から始めて、何回ぐらいあるのでしょうか。三沢東部小・三沢西部小はどういうふうにされたのか知りたいなと思います。あとは、子どもたちだけじゃなくて、保護者も一緒に交流した方が、うまいこと繋がるの

ではないかなと思うので、その辺も含めて、いきなり来年に統合するから1年だけではなくて、2年、3年前から、少しずつ少しずつ回数を重ねていったほうがいいのではないかなと思います。

(会 長) 事務局、お願いします。

(事務局) スクールバスの帰りの便のお話ですが、基本的には帰りは、小学校であれば、早帰りの学年と、あとは高学年になるほど時間割が違ってきますので、一日二便か、多いときには三便と、帰りの便は、そのぐらいの運行を想定しています。当然その都度、必要なスクールバス車両が来て、子どもたちを乗せて下校というような流れになります。現在の松川小の山上地区、西部小の三沢地区、田沢地区のお子さん達の場合、朝は一便ですけども帰りは数便になって、下校の時間に合わせて運行する形になりますので、スクールバスを運行する場合は、同じような考え方で整理をしていきたいと考えているところです。

(事務局) 子どもたちの交流事業については、原則として2年前ぐらいからしたいと考えています。これまでの例ですと、2年前から1年当たり大体3回から4回ぐらい経験していて、今年度の三沢東部小と三沢西部小の例で申し上げますと、その統合直前の2月が最後でしたけども、その時には、実際の乗車練習、学校に行く時の行き帰りを想定して、タクシーの乗車練習も含めて、実際に乗って行ったということもありました。内容としては、行事とか、レクレーションも含めながら、一緒に仲良くなる活動をしたり、授業を一緒に受けたらというふうなことをしながら、だんだん仲良くなって、仲良くなった先に統合があるというふうなことで準備を進めてまいりました。一緒に授業するとなると、教職員の方でも、お互いに授業を見る機会にもなって、先生同士も刺激になったりとか、そういうこともあったなというふうに思っております。また、保護者の方の交流も必要ではないかといったお話ですが、本当におっしゃる通りだと思います。そちらにつきましては、統合準備委員会の中で、実際どういうふうに交流をするかというようなこともお話できるのかなというふうに思います。これまでですと、なかなかコロナのこともあって、一堂に集まれないというような状況があって、本当はお酒でも酌み交わしながらというような交流もあるかなというふうに思います。南原中と二中の時にPTAの方で交流しましたが、二、三度お酒も酌み交わしたかなというふうなこともありますので、そういった場も今後は設定できたらいいなというふうに思っています。状況もありますが、そういったところも、統合準備委員会の中で話し合っただきながら、大人の交流もしていけたらなというふうに思います。

(会 長) その他、皆さんの方からありましたらお願いしたいと思います。なければ、3番の「統合のあり方に関する意見」については終了させていただきます。

それでは4番の「意見書の取りまとめについて」事務局説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 今、事務局の方から説明をいただきましたけれども、皆さんの方から、どういう方向で進めていったらいいのか。もしご意見があれば、五中学区のようなやり方でいいとか、別のやり方ってというのがあれば、出していただければと思います。

(委 員) 事務局から説明していただいたような方向性で、まとめていただければいいかなというふうに思いますが、せっかくアンケートをとったと思いますので、そのアンケートも加味して盛り込んでいただければなというふうに思います。進め方に関しては、異論はないところです。

(会 長) 事務局、お願いします。

(事務局) アンケートを取っていただいたご意見ですが、すでに協議会の会議でお出しただいたことと重なるものもあれば、ちょっと違う視点からのアンケートの回答もございました。これを意見書に盛り込みたいというものがあればですが、どういうふうに盛り込むか、重なる部分もあると思いますので、全部をそのままというわけにはいかないと思いますし、どういうふうにまとめていったらよいかをご指示いただければと思います。また、協議会の中で、すでに出ている意見と合わせるような形にしていくのも良いのかなというふうに思いますので、どの意見をどういうふうに合わせたり、あるいは一つにしていくっていうところについても、すべて大切なご意見ですので、どのように進めてよいか決めていただければと思います。

(委 員) 意見のところは、まとめていただいても良いと思います。せっかくアンケートを書いていたのに、何も形として残らなかったっていうのが、一番気がかりですので、ほとんど出ているところもありますので、事務局の方にお任せという形では駄目でしょうか。

(事務局) まずは事務局で作成するよということであれば、作成させていただいて、次回、お示しさせていただき、それをご確認いただいた上で、抜けがないかどうか確認していただき、修正等があれば、その時にご指摘いただくという形でよろしいでしょうか。

(会 長) 皆さんどうでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、そのような方向でお願いしたいと思います。

それでは、皆さんからのご意見が出尽くしたようなので、本日の協議を終了させていただきます。